京都国立博物館周辺マップ

京都国立博物館が位置する東山七条周辺には、名だたる社寺が点在しています。少し足を延ばして、文化財が伝えられてきた場所を訪ねてみませんか。

舞妓さんで知られる祇園は、八坂神社の門前町。現在のように華やかになったのは江戸時代中期からといわれています。

高台寺から石塀小路を抜けて八坂神社へと向かう道は、表通りの喧噪から離れた静かな道。八坂神社の背後には、枝垂桜で有名な円山公園が広がっています。

平安時代には平家の公達の邸宅が並んでいた六波羅。鎌倉幕府の六波羅探題が置かれるなど、武家とゆかりの深い地でした。

ここは豊臣秀吉が発願した京都大仏が鎮座していた方広寺ゆかりの地。豊臣家滅亡の発端となった「国家安康」の鐘は、方広寺境内にあります。

五条坂・清水道、いずれの交差点からも、参道のお店を眺めながら歩くのが楽しい清水まいり。「洛中洛外図」にも必ず描かれる、京都の代表的な行楽地です。いにしえより観音信仰の霊地として知られ、舞台からの眺望、寺名の由来となった音羽の瀧など見どころもいっぱいです。

この辺りは、源平争乱の激動の世に、政務を執った後白河法皇の御所が置かれた地。三十三間堂は付属の御堂として創建され、法皇の愛した多くの絵巻物を納めた宝蔵があることでも知られていました。

今熊野商店街を抜けると見えてくる東福寺交差点。ここからは想像もつきませんが、奥には多くの塔頭と、壮大な伽藍が展開しており、紅葉の名所としても知られています。